

# 令和5年度重点プロジェクト事業経費成果報告

## 一戦略的社会貢献プロジェクトー

### 【事業名：Blue Winds事業】



#### 【事業概要】

- ・スポーツアライアンス室（SA室）が課外活動団体と連携し、社会貢献プロジェクトを実施する。
- ・本学と鹿屋市が創設した地域密着スポーツブランド「Blue Winds」のロゴタイプの浸透を図る。
- ・「する」「みる」「ささえる」スポーツを通して、大学スポーツを通じた地域振興を図る。

#### 【事業実績の概要】

- ・カレッジスポーツデイ、多世代交流ミッションウォーキング、スポーツをカタルガ！、目指せ！鹿屋健康寿命日本一プロジェクト、みんなのタイムトライアル、職域でのウェルビーイング出張事業、スポーツで自由研究をしよう！、みるスポーツ支援人材育成事業を実施し、スポーツを「する」「みる」「ささえる」機会を創出
- ・令和5年度も、昨年度に引き続き、大崎町や日置市といった地域にも事業を横展開するとともに、大学スポーツ協会受託事業の一環で、地域課題の解決を目指す持続可能なモデル事業を実施した。
- ・各種SNSを通じて、本事業や課外活動団体の活動情報を発信した。

#### 【主な取組】

##### ①カレッジスポーツデイ

- ・本学施設等で開催される大学スポーツを観戦・応援するイベント
- ・令和5年4月22日（土）～令和6年3月3日（日）21回開催
- 野球：「九州地区大学野球選手権南九州ブロック大会」vs鹿児島国際大学 等 6回
- サッカー：「九州大学サッカーリーグ1部」vs九州共立大学 等 5回
- バスケットボール：「全九州大学春季バスケットボール選手権大会1stステージ」vs九州産業大学 等 3回
- バレーボール：「九州大学春季バレーボール女子1部リーグ大会」vs福岡大学 等 2回
- 陸上競技：「鹿屋体育大学陸上競技会」等 5回

POINT：①応援のエンターテインメント化を図るため、プラスバンド、チアダンス関係者に応援団を結成してもらい、一般参加者を巻き込んだ応援を実施した。

②試合を盛り上げるため、かんぱちろうによるハーフタイムショーの実施、露店を出展した。

③各課外活動団体の学生、顧問教員の全面的な協力を得て実施した。



##### ②みんなのタイムトライアルの開催

市民ランナーに、全天候トラックでのタイムトライアルの機会を提供するとともに、本学の資源を活かしてスポーツイベントを開催することによる地域におけるスポーツプロモーションを図るイベントとして、大崎町にある「ジャパニアスリートトレーニングセンター大隅」において、令和5年11月18日（土）に、日置市で令和5年12月17日（日）に開催した。



##### ③多世代ミッションウォーキングの開催

学内に市民が健康づくりのために活用できるウォーキングコースを設定し、多世代を対象としたウォーキングイベントを実施することで、地域のスポーツ実施率の向上や大学スポーツを通じた交流の場の提供。

- 【第1回：体大ミッションウォーキング】 参加者：51名
- ・令和5年10月14日（土） 鹿屋体育大学
- 【第2回：蒼天祭×ミッションウォーク】 参加者：77名
- ・令和5年11月12日（日）鹿屋体育大学



#### 【関連する第4期中期計画及び「NIFS NEXT30」におけるミッション】

##### ○第4期中期計画

###### 中期計画【12】

本学の特色ある研究施設や競技施設の社会基盤を活かし、国内外の大学、地域等他機関との積極的な連携体制を構築する。また、大学スポーツを通じた地域を活性化する取組を推進し、健康増進、生涯スポーツ振興、競技力向上に貢献することで機能の強化・拡張を図る。

##### ONIFS NEXT30

###### IV. 「社会連携・社会貢献」

鹿屋体育大学を拠点とする、地域密着型のスポーツ&ヘルスプロモーションを積極的に展開し、地域社会のウェルビーイング向上・健康寿命延伸の実現に貢献します。

#### ④スポーツで自由研究をしよう！

スポーツや運動に対する子供たちの日頃の疑問や課題から研究テーマを引き出し、研究の進め方に関して相談できる場を設けることで、スポーツや運動への興味・関心・思考・判断力をより高め、深く関わる態度の醸成を図り、小中学校の課題研究を支援。

- ・令和5年7月23日（日）SPORTEC スポーツパフォーマンス研究センター 参加者数：39名（14組）



#### ⑤スポーツをカタルガ！の実施

令和3年度よりスポーツの価値を伝えることができる人材の育成を目的として、スポーツイベントや試合をわかりやすく解説できる「仕掛けづくり」を学ぶ実践プロジェクト型セミナー『スポーツをカタルガ！』を実施しており、令和5年度は、鹿屋市民1名、本学学生2名の計3名がセミナーを受講した。セミナーは実践プロジェクト型で令和5年5月27日（土）～11月12日（日）に計9回開催された。また、令和5年11月12日（日）に開催された本学サッカー部の公式試合の実況において受講した学生が実況及び解説を行い、YouTubeライブ配信を行った。



No.	日程	プログラム内容	備考
1	5/27(土)	スポーツ観戦から学ぶ実況と解説の発見(前座イベント)	
2	6/7(木)	スポーツを語るには？	オンライン開講
3	6/21(木)	スポーツを語るための分析と視点	オンライン開講
4	7/5(木)	スポーツを語るための資料と材料	オンライン開講
5	7/29(木)	スポーツを語るための取材とその方法	オンライン開講
6	9/24(日)	選手への取材とグループディスカッション ※2	
7	10/25(木)	スポーツを語るための資料整理①	ハイブリット開催
8	11/8(木)	スポーツを語るための資料整理②	
9	11/12(日)	大学スポーツでの実況・解説 ※3	

#### ⑥SNSを活用したコミュニティの確立

SA室では、当室が保有しているSNSにおいて情報発信を行っている。例えば、Blue Windsイベントへ参加された方にLINE公式アカウントへの登録を促している。Blue Windsイベントや、広報係から情報提供いただいた課外活動団体の試合日程や結果を配信し、大学スポーツ観戦の機運醸成を図った。

友だち登録は  
こちらから→



Blue Winds  
公式LINEアカウント  
ID:@hwm1610j

#### 【今後の事業の展望】

- ・中期計画【12】及びNIFS NEXT 30の達成に向けて、Blue Winds事業を継続していく。
- ・従来のBlue Winds事業の展開及び新規事業の企画実施を通じて、大学スポーツを通じた地域振興を図るとともに、自走化に向けた取組や、観戦者を巻き込んだ応援のエンターテインメント化を検討する。
- ・地域のスポーツ交流人口を増やすために、スポーツに興味・関心のない方も気軽にスポーツに触れることのできる取組や、働き世代・子育て世代のスポーツ実施率の向上に寄与する取組を検討する。